

ハイフォン市への組織連携訓練マネジメント手法導入による防災体制改善プロジェクト（2018年～22年）



地域に防災連携の輪を広げる！

■ **実施団体：**
公立大学法人北九州市立大学

■ **対象国・地域：**
ベトナム国・ハイフォン市

■ **現地カウンターパート**
ハイフォン市公安局消防警察部



■ **協力内容：**
消防警察の組織連携訓練マネジメント能力が向上する。
・消防警察の訓練指導員が養成される。
・消防警察と地域防災組織の連携訓練ができるようになる。
・消防警察が組織連携訓練のPDCAサイクルを回せるようになる。

■ **団体のこれまでの取り組み：**
文部科学省国費留学生特別枠を活用し、ハイフォン市人民委員会、消防警察、ベトナム消防大学から大学院生を受入れている。

■ **事業実施の背景：**
人口約200万人のハイフォン市では火災による被害が年々増大。しかし、人口増加、産業発展、市民の生活スタイルや価値観の変化が激しく、地域の災害対応の中核を担う、ハイフォン市公安局消防警察部×住宅地×職場の地域防災組織間の連携は困難であった。そのため、それぞれのアクターが迅速かつ効果的に連携し、被害の増大を抑えられるような体制づくりが求められていた。

ベトナム国の課題と成果

課題① 組織的な災害対応能力強化のための研修や訓練を企画・評価可能な人材が不足し、現場で消火や避難等の実動訓練実施に留まっていた。

成果① 消防警察の訓練指導員を15名を養成した。

課題② 大規模な訓練実施が限られ、実動訓練で想定できる災害状況も限定的とならざるを得なかった。

成果② 地域防災組織訓練参加者用テキストを作成し、病院、住宅団地防災組織向け訓練を実施。

課題③ 組織連携訓練のPDCAサイクルをまわす仕組みが十分ではなかった。

成果③ 消防警察用、消防と地域防災組織の連携訓練計画、訓練指導員育成計画を作成した。

事業の波及効果



ベトナムに広がる災害に強い社会づくり

- ・本事業に参加したハイフォン国際病院（民間団体）が、本事業で取り上げた訓練手法を定期的に活用した防災体制強化に取り組んでいる。
- ・本邦研修時の共同訓練等を通じて日本側、ベトナム側の関係者間の信頼関係が構築され、事業終了後も消防職員同士の連帯感が継続している。